

「転移性脊椎腫瘍における術後歩行能の予後予測因子の検討」へご協力をお願い

- 昭和62年1月1日から平成26年12月31日まで岡山大学病院において転移性脊椎腫瘍に対して手術を受けた方へ -

研究機関名	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院		
研究機関の長	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	研究科長	谷本 光音
	岡山大学病院	病院長	槇野 博史
研究責任者	岡山大学病院 整形外科	医員	渡邊 典行

1. 研究の概要（研究の目的及び意義）

背骨に飛び移った悪性腫瘍によって背骨の中を通る神経が圧迫され、手足が麻痺で動かなくなり、歩行できなくなることがあります。手術により麻痺の改善が期待できますが、前もって麻痺の改善度を予測する要素については結論が出ておりません。今回、岡山大学病院で実際に手術を行った後に、歩行できた方とできなかった方について、手術した後の歩行能力の改善度に影響を与えた要素について検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

昭和62年1月1日から平成26年12月31日まで岡山大学病院において転移性脊椎腫瘍に対して手術を受けた方100人を対象とします。

2) 研究期間

平成28年2月開催の倫理委員会承認後 ～ 平成28年5月31日

3) 研究方法

対象となる研究対象者に対し、カルテにある情報から、手術後の歩行能力に影響を与える要素について調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録等から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報とは削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名
- 2) 現病歴：発症から手術までの期間
- 3) 身体所見：術前歩行能、術後歩行能、全身状態 (PS)
- 4) 手術情報：手術時間、出血量

5) 情報の保存及び廃棄の方法

本研究に使用した情報は研究終了後5年間保存させていただきます。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 情報の保護

本研究に使用する情報は岡山大学整形外科医局内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたまたは代諾者のご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたまたは代諾者が希望される場合に行います。

あなたまたは代諾者の同意により、ご家族等を交えてお知らせすることも出来ます。内容についておわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	医員（大学院生）	渡邊 典行
電話：086-235-7273（平日：9時～17時）		
FAX：086-223-9727		